

九電は川内原発を即時停止せよ!

玄海原発再稼働を止めよう!

◇九電の免震重要棟建設計画撤回を許さない!

回を許さない!

九州電力は3月25日、川内原発の重大事故時の拠点施設について、免震重要棟の建設を撤回し、耐震構造にすると発表しました。そして、5月17日、今度は「白紙」としていた玄海原発の免震重要棟建設についても耐震構造にするとしました。

福島原発事故の際、事故対応を現場近くで指示できたのは、それを担った緊急時対策所が免震構造の建物の中につくられていたからです。当時の東電清水社長も「あれがなかったらと思うとぞっとする」と国会で証言しています。

九電は「更なる安全性、信頼性向上の観点から」2015年度

(つまり2016年3月末)を目途に、川内原発、玄海原発敷地内に免震重要棟を完成設置すると公表していました(2012年7月31日 プレスリリース)。川内原発再稼働申請では、その免震重要棟の建設計画を原子力規制委員会に提出していました。ところが昨年12月それを撤回し、耐震構造を持つ支援棟(医務室や宿泊室など)を設置することで代えると、方針転換しました。約束を反故にしたのです。そして、今度は玄海原発に係る方針転換!いったん再稼働してしまうと、いとも簡単に約束を破る九電の企業体質を、徹底的に弾劾しましょう!!

朝日新聞

2016年(平成28年)5月17日 火曜日 1

玄海も耐震構造の方針

事故時拠点 九電、きょう地元伝達

九州電力は再稼働を目指す玄海原発(佐賀県玄海町)3、4号機について、「免震重要棟」ではなく、耐震構造とする方針を固めた。17日に県や町に伝え、近く原子力規制委にも申請する。工期の早さや耐震構造の実績などを説明するとみられる。

免震棟は新規制基準で必須ではないが、東京電力福島第一原発事故で拠点となり、有用性が示されている。免震は建物下部のゴムなどで揺れを吸収する。耐震は建物の骨組みなどを強化する。

九電は当初、玄海原発に地上3階建てで延べ約6600平方メートルの免震重要棟を「白紙」と答えるなど、計

画を見直す考えを示していた。免震重要棟をめぐっては、九電が建設を前提に川内原発(鹿児島県薩摩川内市)を再稼働させた。しかし再稼働後に建設を撤回し、耐震構造にするとの表明。当初規制委から批判を受けたが、機能を充実させる計画に変えるなどし、一定の評価を得た。



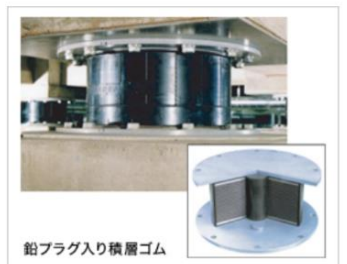
上: プルサーマル発電の玄海原発 3号機 下: 玄海原発 4号機

免震技術

建物を地震の揺れから隔離する

建物を積層ゴムなどの免震装置の上に載せた構造とすることで、地震の揺れが建物に伝わりにくくし、安全性を確保する技術です。建物の荷重を支えながら揺れを逃がす「免震支承」と、エネルギーを吸収して建物が揺れにくくなる「減衰装置」で構成されます。

大林組ホームページより



鉛プラグ入り積層ゴム

◇川内原発を止めよう！

4月14日、熊本地方を震央とする震度7（マグニチュード6.5）の大地震が発生しました。4月16日には、同じく熊本地方を震央として震度7（マグニチュード7.3）の本震が襲いました。私たちは、改めて地震災害のすさまじさをまざまざと見せつけられました。この上、原発事故が重なればいったいどうなるのか、多くの人が不安な思いにかられました。九電には「川内原発停止」を求める5000件を超える電話やFAX、メールが届いています。運転停止を求めるインターネット署名には、11万人を超える賛同者が集まりました。しかし、九電は、川内1、2号機は「異常なし」として、通常運転を継続しています。

米原発会社「ゼネラル・エレクトリック」で18年間、原発技術者として働いた原子力コンサルタントの佐藤暁さんが、次のように話されています。「米国では、原発周辺に大型ハリケーンが来襲すると予報されれば原発を止める。原発に被害がなくても、送電線や鉄塔が倒壊して外部電源が喪失し、深刻なリスクを及ぼしかねないからだ。地震の場合も同様。本震で原発が大丈夫でも、余震で送電線などが損傷する可能性があると考えれば、あらかじめ運転を止める選択もあるのではないか」

「異常あり」になってからでは手遅れです。人間は地震や火山活動を止めることはできませんが、原発を止めることはできます。中央構造線に沿って地震が続く今、どこでいかなる地震が発生するか、誰も予測できません。川内原発は直ちに止めるべきです。

◇玄海原発周辺にも活断層はある！

半径30km以内の活断層分布



玄海原発の周辺にも活断層は存在します。左は、玄海3、4号機の審査を行っている原子力規制委員会に対し、九州電力が提出した資料に示された活断層です。

佐賀県地域防災計画の中では、震度7（佐賀市、鳥栖市、唐津市の一部ほか）や震度6強（伊万里市、有田町の一部ほか）の地震も想定されています。地図に表記された以外の未知の活断層があることも否定できません。玄海原発を再稼働させてはなりません。

☆再稼働の前提は崩れた！九電は川内原発の稼働を停止せよ！
☆玄海原発3、4号機の再稼働審査申請をただちに取り下げよ！

玄海原発再稼働 STOP! 天神街宣やろうぜ!

再稼働を止めるため、以下の行動に是非ご参加ください。
 と き：5月29日（日）、6月4日（土）、26日（日）
 午後2時～3時

ところ：福岡市天神コア前

※マイクアピールと署名活動、ビラ配りを行います。予定の場所が使用できない場合は、近隣の場所で街宣します。

〈主催：戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会

戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会

Tel : 080-8353-5792 (工藤)

E-mail : no_war_no_genpatsu_fukuoka@yahoo.co.jp

http : //no-war-no-genpatsu-fukuoka.jimdo.com/